

事業所名

発達支援フォローアップ

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025年

3月

26日

法人(事業所)理念		個々に対応できるよう「理解」「受容」をもとにゆったりとした余裕ある居場所作りをする。								
支援方針		コミュニケーション力が育つように感情を表現し伝える力、ルールを守って相手のことを考えることなど、一人一人の発達にアプローチをして将来自立を目指し社会の中で生きていく力が身についていくよう支援を行っていく。								
営業時間		10時	00分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	毎日の検温、排泄トレーニング。靴・靴下の着脱、靴を靴箱に入れる、荷物を自分の棚に入れるなどの身辺自立の訓練では来所後や外遊び等本人が楽しめる活動の前後に重点的に取り組む。衣服の着脱については衣服をしっかり掴んで腰から下に下ろす動作を促すところからスモールステップとして行っていく、支援員がサポート・仕上げを補助する。スプーンやフォーク、補助箸、補助箸と段階的に使用することにより手の操作性の向上。マークや名前などの視覚化から徐々に少ない声かけで持ち物の整理整頓ができるよう支援する。昼食時やおやつ時に食育も行っていく。手洗い方法をイラストで掲示する。								
	運動・感覚	またぐ・くぐる・ジャンプする・つかむ・支える等の要素を取り入れた遊具を使ったサーキットなどを取り入れ体幹・バランス感覚を鍛えていく。のりや鉛筆、ハサミなどの道具での手具操作による季節の製作活動を通した微細運動をする。粘土などの感覚遊びも取り入れていく。								
	認知・行動	朝の会での天気や日付の把握と確認による感覚・数の認知形成、季節の変化への興味などの感性形成と集団行動のための歩行訓練、迷路・シール貼り・マグネットの形合わせ・ブロック・折り紙などによる空間認知能力の形成、指示通りに行動する指示ゲーム、カラータッチによる色の習得、名前やマークでの視覚化による靴や荷物を片付ける場所の理解を身に付けていく。								
	言語 コミュニケーション	朝の会や終わりの会等、前に出て当番をする機会を設けたり、自己紹介やその日の振り返り、絵カードを使った発語の促進などを行っていく。状況に応じた挨拶や尋ね方などのSSTを行い、簡単な物の貸し借りなどを通して相手に伝えると共に相手の気持ちを考える力を一緒に活動を楽しむコミュニケーション力を養っていく。								
	人間関係 社会性	動物の模倣、お店屋さんごっこや鬼ごっこの協同遊び、他人と協調して行うカラーボール集めリレー、勝ち負けのあるゲームでの順番やルール理解、自制心の向上への働きかけ、人との関わりの中での楽しみを伝えていく。								
家族支援		悩み事や困り事の相談援助、レスパイトや就労等の預かりニーズへの対応			移行支援		ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備、利用児の通う保育園や幼稚園、小学校等と併行利用している場合における併行利用先との連携			
地域支援・地域連携		利用児の通う保育園・幼稚園・小学校との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組み、関係協力医療機関との連携			職員の質の向上		事業所内研修・外部研修の派遣			
主な行事等		お誕生日会、お花見、夏祭り、お化け屋敷、クリスマス会、節分、遠足活動、クッキング活動(カップケーキなど)、お別れ遠足、その他季節に合わせた活動								